

## 株主メモ

**事業年度** 4月1日～翌年3月31日  
**剰余金の配当基準日** 期末配当金3月31日  
中間配当金9月30日  
**定時株主総会** 毎年6月  
**単元株式数** 100株  
**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

**公 告 方 法** 電子公告 (<https://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### 上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成31年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成31年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式  
会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号  
TEL.03-3546-7711  
<https://www.musashinet.co.jp/>

Financial Report  
**2018**

**第97期 年次報告書**

2017年4月1日～2018年3月31日

株式  
会社 **ムサシ**

証券コード:7521



代表取締役社長  
**羽鳥 雅孝**

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第97期年次報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

### 業績の概要

当社グループでは、文書のデジタル化事業や印刷機材、貨幣処理機器やセキュリティ機器及び紙・紙加工品の販売に注力するほか、これら事業を強化するためエム・ビー・エス(株)を子会社化いたしました。また、昨年10月に実施された衆議院選挙をはじめ、各地方選挙向け機材の販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は、売上高372億98百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益9億60百万円(前年同期比13.3%減)、経常利益10億59百万円(前年同期比14.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益7億42百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

### 対処すべき課題

当社グループは、文書デジタル化事業において、関連グループ会社と連携し案件ごとの採算性を注視しながら、国内最大のイメージングセンターを活用した高い生産性や万全なセキュリティ体制など、当社グループ事業の特長を活かした電子化サービスの提案を行い、民間企業からの受注拡大と官公庁・自治体を中心とする大型案件の受注獲得に取り組んでまいります。

印刷システム機材分野では、主力機材の販売減への対応と収益性の改善を図るため、レーザー加工機などの印刷後加工分野の機器の拡販や、無処理型印刷材料の普及に注力すると共に、自社開発ソフトウェアビジネスの拡大に取り組んでまいります。また、新子会社との協業によりビジネスフォーム印刷会社への新規販路の開拓を進めてまいります。

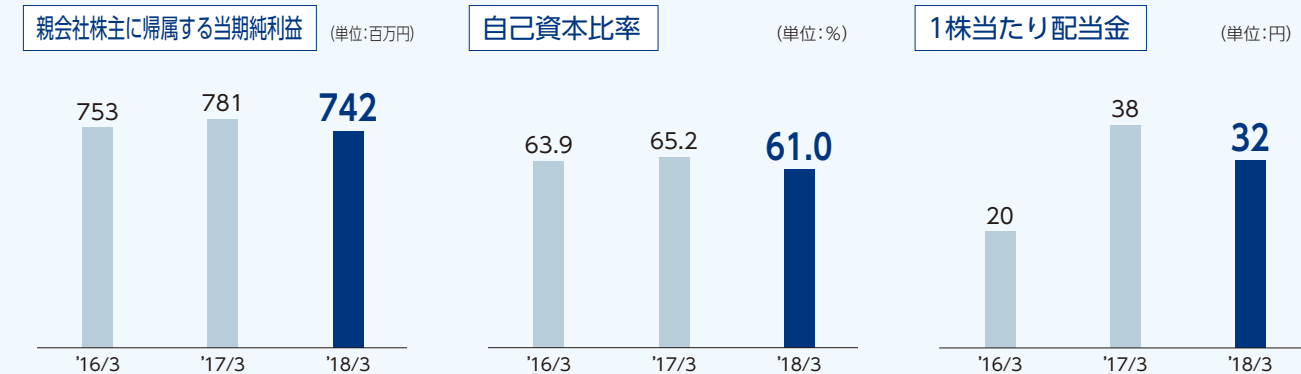
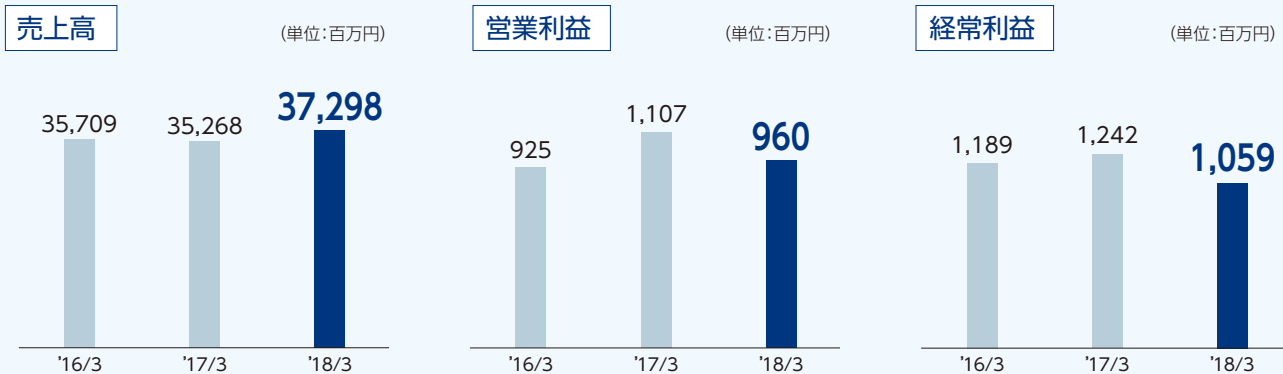
金融汎用システム機材分野では、主要市場である

金融機関向けの販売を強化するため、内部管理強化や事務効率化などに対する顧客の課題を把握し、その解決に向けた機器やシステムの開発を推進する提案型の営業に注力することで、機器の更新需要を喚起してまいります。

選挙システム機材分野では、国政選挙の有無に左右されない安定した業績を確保するため、地方選挙での事務効率化機器の導入促進に注力するほか、選挙の業務管理システムの拡販に取り組んでまいります。

紙・紙加工品分野では、厳しい市況環境が続く印刷用紙については既存顧客からの受注拡大に注力する一方、堅調な需要と利益確保が期待できる紙器用板紙の拡販を推進してまいります。また、製紙メーカーと連携し顧客ニーズに対応した「特抄紙」の取扱いを拡大させ収益の向上に取り組んでまいります。

### 財務ハイライト



暮らしの中の身近なところで、ムサシの商品やサービスが

皆さまのお役に立っています

情報・産業システム機材

文書やマイクロフィルムのデジタル化、マイクロフィルム撮影などの総合的なメディアコンバートサービスをご提供。産業用非破壊検査機材のご提供。

主な販売先

官公庁・自治体  
企業・金融機関  
学校・図書館  
非破壊検査業



ドキュメントスキャナー

印刷システム機材

デジタルプリプレスシステムやPODシステム、印刷材料等を富士フィルムの特約店としてご提供。レーザー加工機等の印刷後加工商品や名刺印刷システムをご提供。

主な販売先

印刷会社  
文具・印章店  
企業



CTPシステム

選挙システム機材

投票用紙読取分類機・交付機等の機器や、開く投票用紙など投票事務の効率化機材、投票箱、業務管理システム、告知啓発用品などをご提供。

主な販売先

自治体



投票用紙読取分類機

金融汎用システム機材

出納や売上金精算など現金処理業務の効率化を図る貨幣処理機器や、鍵・IDカード等の管理業務を強化するセキュリティ機器をご提供。

主な販売先

金融機関  
流通業  
宅配業・交通業・公営競技場  
アミューズメント



紙幣整理機

紙・紙加工品

様々な分野で使用される紙や、付加価値の高い特殊紙、パッケージなどの紙器用板紙をご提供。

主な販売先

印刷会社  
紙器業  
出版社



不動産賃貸・リース事業等

不動産賃貸やオートリース、各種保険サービスをご提供。

主な販売先

ムサシグループ



選挙システム機材

## ムサシの技術で開票作業の効率化を完全サポート

当社は、長年の経験と実績に基づく豊富なノウハウと高い技術力で、選挙の開票作業の各工程をサポートし、業務の効率化によるコスト削減に貢献しています。

### ひらく

#### 開く投票用紙

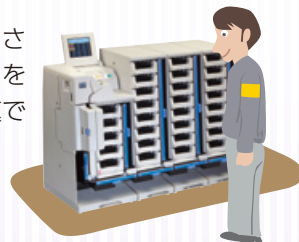
折りたたまれ投票箱に投入された用紙が瞬時に開き、面倒な開く作業を省きます。



### 仕分ける

#### 投票用紙読取分類機

投票用紙に記載された手書き文字を毎分660票の高速で読み取り、候補者別に分類します。



### 集計する

#### 開票集計システム

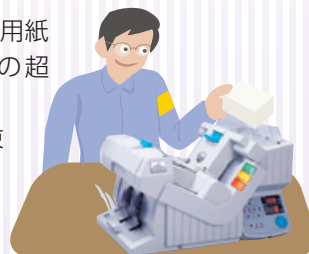
100票束ごとに付けたバーコードを読み取り、候補者別の得票数を正確に集計します。



### 数える

#### 投票用紙計数機

候補者別の投票用紙を毎分1500票の超高速で計数し、100票ごとに束を作ります。



印刷システム機材

## 小ロットのシールやラベルを簡単作製！

新商品の専用プリンターとレーザー加工機を組み合わせムサシ独自の簡易製作システムを発売しました。



シール・ラベルプリンター  
「EDGE850」



シール・ラベル用  
レーザー加工機  
「Label Express」



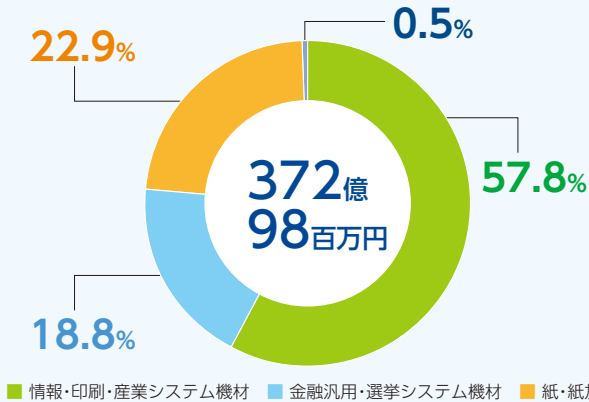
印刷とレーザーカットで完成したシール

カタログ・チラシを印刷する商業印刷会社の事業多角化を提案します。

売上高 372億98百万円

(2018年3月期)

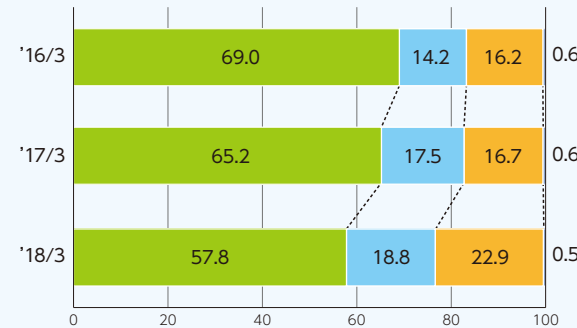
売上高構成比



■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材 ■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

売上高構成比の推移

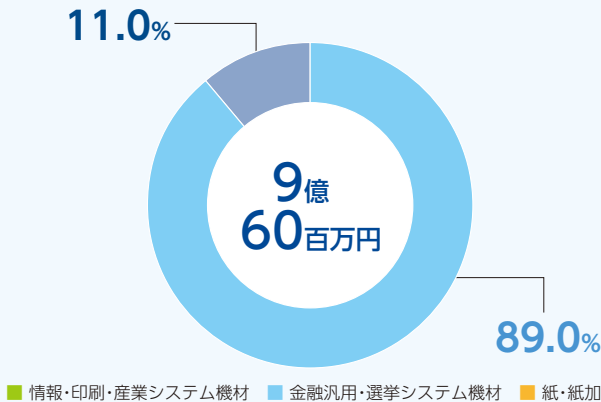
(単位: %)



営業利益 9億60百万円

(2018年3月期)

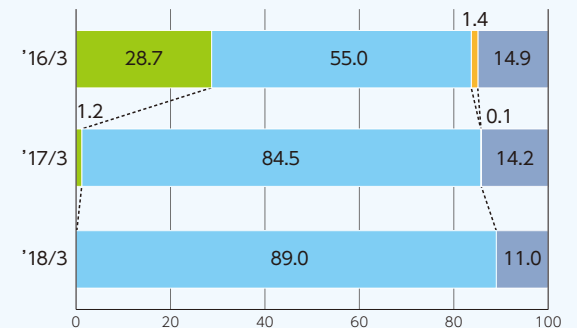
営業利益構成比



■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材 ■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

営業利益構成比の推移

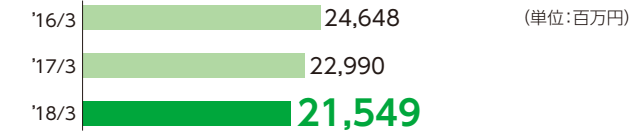
(単位: %)



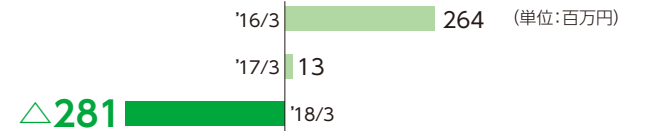
情報・印刷・産業システム機材



売上高 215億49百万円



営業利益 △2億81百万円



情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売は順調でしたが、文書のデジタル化事業において官公庁や自治体からの大口案件が減少したほか、大型商談の延期などもあり前年実績を下回りました。

印刷システム機材は、レーザー加工機をはじめとする印刷後加工分野の機器販売については一定の成果がありましたが、CTPなど主力の印刷機器及び印刷材料の販売が、印刷需要の減少や販売単価の下落、印刷通販の台頭などの影響により予想以上に落ち込み前年実績を下回りました。また、主力機材の販売低迷に伴い収益性が大幅に低下いたしました。

以上の結果、売上高は215億49百万円(前年同期比6.3%減)となり、利益面では印刷システム機材分野の利益率低下が影響したため、2億81百万円の営業損失(前年同期は営業利益13百万円)となりました。

TOPICS

世界最速「レーザー加工機」を発売

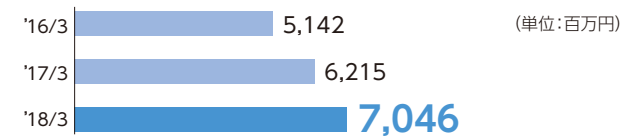
印刷後に加工を施し商品の差別化を実現するレーザー加工機。最上位機種を発売しました。レーザー光による繊細でデザイン性の高い加工で印刷物の高付加価値化を追求しています。



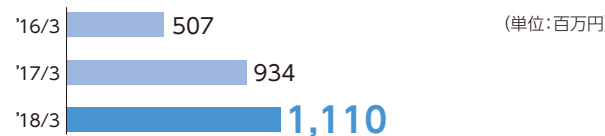
新発売のレーザー加工機「FLEXI 816T」



**売上高 70億46百万円**



**営業利益 11億10百万円**



金融汎用システム機材は、金融機関のガバナンス強化によりセキュリティ機器の更新が進んだほか、インバウンド効果により外貨処理システムの販売は堅調に推移しましたが、全体的には金融機関及び流通市場において設備投資抑制の影響を受け、主力の貨幣処理機器の販売が伸び悩んだため前年実績を若干下回りました。

選挙システム機材は、上半期に東京都議会選挙をはじめ各地方選挙向けに機器や投票システム等の販売が順調だったほか、下半期には衆議院選挙が実施されたことで同選挙向けに投票用紙読取分類機や計数機、交付機などの機材販売が好調に推移したため、前年実績を大幅に上回り過去最高の事業売上を達成いたしました。

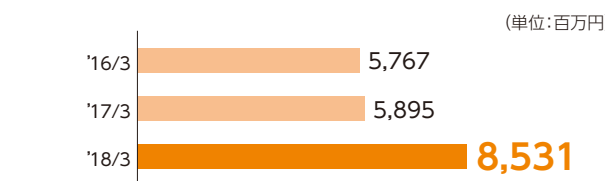
以上の結果、売上高は70億46百万円(前年同期比13.4%増)となり、営業利益は11億10百万円(前年同期比18.8%増)となりました。

**TOPICS**

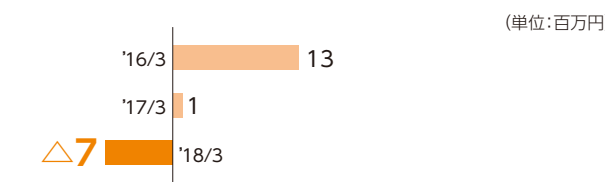
**衆院選挙で期日前投票が増加**  
 昨秋の衆議院選挙では、投票者の4割が期日前に投票を行い過去最多となりました。このため、投票所の受付業務の迅速化を図る交付機や投票管理システムの導入が進みました。

**紙・紙加工品**

**売上高 85億31百万円**



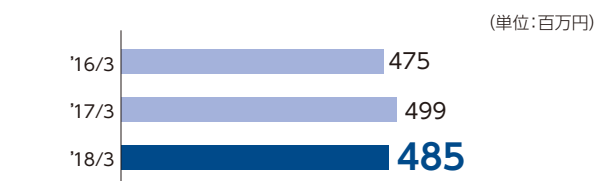
**営業利益 △7百万円**



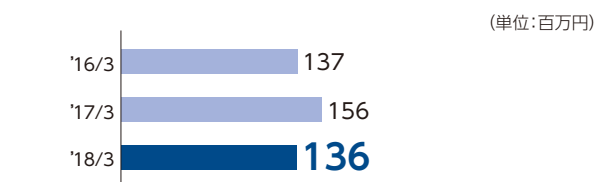
紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受け低迷いたしました。また、昨年9月に子会社化したエム・ビー・エス(株)における感圧紙等の販売は概ね順調に推移いたしました。この結果、売上高は85億31百万円(前年同期比44.7%増)と新子会社を連結対象とした効果により前年実績を上回りましたが、利益面については「のれん」の償却負担もあり7百万円の営業損失(前年同期は営業利益1百万円)となりました。

**不動産賃貸・リース事業等**

**売上高 4億85百万円**



**営業利益 1億36百万円**



不動産賃貸・リース事業等の業績は概ね堅調に推移し、売上高は4億85百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益は1億36百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第97期 2018年3月31日現在	第96期 2017年3月31日現在
(資産の部)		
1 流動資産	34,679	31,541
2 固定資産	10,299	9,641
有形固定資産	3,263	3,290
無形固定資産	477	137
投資その他の資産	6,558	6,213
資産合計	44,978	41,183
(負債の部)		
3 流動負債	15,041	12,023
4 固定負債	2,497	2,298
負債合計	17,538	14,322
(純資産の部)		
株主資本	26,882	26,378
その他の包括利益累計額	558	481
5 純資産合計	27,440	26,860
負債・純資産合計	44,978	41,183

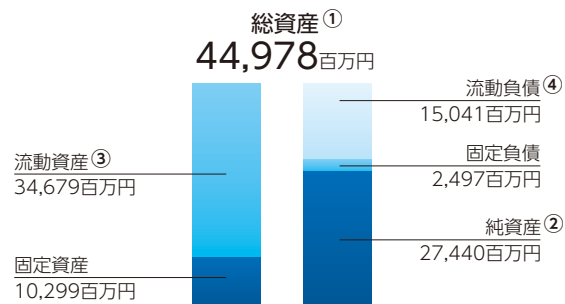
当期末総資産

自己資本比率(財務の健全性)  
=②÷①×100

61.0%

流動比率(短期の支払能力)  
=③÷④×100

230.6%



ポイント

資 産

1 流動資産

■増加の主要因

- ・受取手形及び売掛金の増加(19億93百万円)
- ・棚卸資産の増加(8億5百万円)
- ・流動資産の「その他」の増加(2億24百万円)

2 固定資産

■増加の主要因

- ・のれんの増加(3億52百万円)
- ・退職給付に係る資産の増加(1億31百万円)
- ・繰延税金資産の増加(1億28百万円)

負 債

3 流動負債

■増加の主要因

- ・支払手形及び買掛金の増加(22億1百万円)
- ・電子記録債務の増加(6億4百万円)
- ・流動負債の「その他」の増加(1億92百万円)

4 固定負債

■増加の主要因

- ・役員退職慰労引当金の増加(87百万円)
- ・固定負債の「その他」の増加(1億14百万円)

純資産

5 純資産

■増加の要因

- ・親会社株主に帰属する当期純利益(7億42百万円)
- ・その他の包括利益の増加(76百万円)

■減少の要因

- ・剰余金の配当(2億38百万円)

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第97期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	第96期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	37,298	35,268
売上原価	29,132	27,867
売上総利益	8,165	7,400
販売費及び一般管理費	7,205	6,293
営業利益	960	1,107
営業外収益	146	173
営業外費用	46	39
経常利益	1,059	1,242
特別利益	180	-
特別損失	-	17
税金等調整前当期純利益	1,240	1,224
法人税、住民税及び事業税	497	505
法人税等調整額	1	△63
当期純利益	742	781
親会社株主に帰属する当期純利益	742	781

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第97期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	第96期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,367	2,500
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,078	△325
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△239	△213
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50	1,961
現金及び現金同等物の期首残高	18,725	16,763
現金及び現金同等物の期末残高	18,775	18,725

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<https://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



IR情報トップページ

業績ハイライトや、過年度の決算短信、年次報告書など様々なIR情報をご覧ください。最新の株価などもご確認いただけます。

より使いやすいサイトを目指してまいります。

ポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 収入の主要因
- ・税金等調整前当期純利益 12億40百万円
  - ・減価償却費 3億22百万円
  - ・たな卸資産の減少 2億20百万円
  - ・仕入債務の増加 10億55百万円

- 支出の主要因
- ・その他流動資産の増加 1億22百万円
  - ・法人税等の支払額 4億14百万円

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

- 収入の主要因
- ・投資有価証券の売却等による収入 2億95百万円
- 支出の主要因
- ・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 19億68百万円
  - ・固定資産の取得等による支出 2億95百万円

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 支出の主要因
- ・配当金の支払 2億39百万円

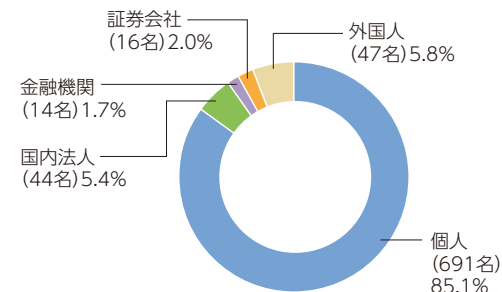
発行可能株式総数 ..... 28,920,000株  
 発行済株式の総数 ..... 7,950,000株  
 株主数 ..... 812名

大株主

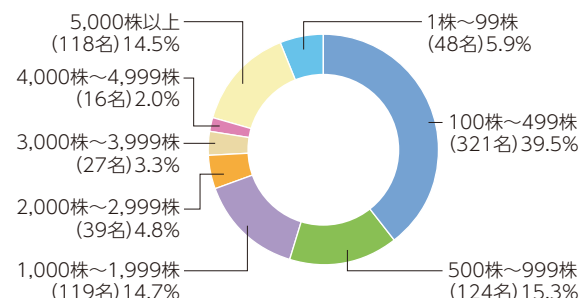
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	18.7%
ショウリン商事株式会社	897	12.1
ムサシ社員持株会	474	6.4
株式会社みずほ銀行	360	4.8
MSCO CUSTOMER SECURITIES	317	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	308	4.1
ムサシ互助会	299	4.0
株式会社光通信	277	3.7
小林厚一	237	3.2
株式会社三井住友銀行	190	2.6
羽鳥雅孝	137	1.8

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 当社は自己株式506千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有株数別状況(株主数)



IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中旬 本決算 発表	初旬 決算説明会 下旬 定時株主総会 期末配当金支払開始		中旬 第1四半期 決算発表	初旬 個人投資家 向け説明会		中旬 第2四半期 決算発表	初旬 第2四半期 決算説明会 中旬 中間配当金支払開始		中旬 第3四半期 決算発表	初旬 個人投資家 向け説明会	

商 号 株式会社ムサシ  
 設 立 1946年12月  
 本 社 東京都中央区銀座八丁目20番36号  
 資 本 金 1,208,500,000円  
 従 業 員 数 連結577名/単体221名 (2018年3月末現在)  
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行  
 株式会社三井住友銀行  
 株式会社三菱UFJ銀行  
 関係会社 ムサシ・フィールド・サポート (株)  
 武蔵エンジニアリング (株)  
 (株) ムサシ・エービーシー  
 ムサシ・イメージ情報 (株)  
 ムサシ・アイ・テクノ (株)  
 エフ・ビー・エム (株)  
 武蔵興産 (株)  
 (株) 武蔵エンタープライズ  
 エム・ビー・エス (株)  
 (株) ジェイ・アイ・エム  
 役 員 代表取締役名譽会長 都木 恒夫  
 代表取締役会長 小林 厚一  
 代表取締役社長 羽鳥 雅孝  
 専 務 取 締 役 佐々木 淳  
 常 務 取 締 役 村田 進  
 常 務 取 締 役 山村 隆  
 取 締 役 浅川 正仁  
 取 締 役 新妻 一俊  
 取 締 役 廻 真一郎  
 取 締 役 栃木 真司  
 取 締 役 小林 佳典  
 取 締 役 小野 貢市  
 取 締 役 五島 真一  
 社 外 取 締 役 高原 巨章  
 常 勤 監 査 役 中川 裕務  
 常 勤 監 査 役 桑原 弘順  
 社 外 監 査 役 安藤 信彦  
 社 外 監 査 役 浅野 修一

事業所

- ▶ 本社
- ▶ 東京第一支店・東京第二支店
- ▶ 紙・紙加工事業部・海外営業部  
東京都中央区銀座八丁目20番36号
- ▶ 札幌支店  
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号
- ▶ 仙台支店  
仙台市青葉区本町一丁目11番2号
- ▶ 北関東支店  
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地
- ▶ 東関東支店  
千葉市中央区新町18番地10
- ▶ 神静支店  
横浜市西区北幸二丁目8番4号
- ▶ 名古屋支店  
名古屋市中区栄四丁目14番2号
- ▶ 大阪支店  
東大阪市長田中三丁目6番1号
- ▶ 中四国支店  
広島市中区本川町二丁目6番11号
- ▶ 福岡支店  
福岡市博多区店屋町6番25号
- ▶ 新潟営業所
- ▶ 茨城営業所
- ▶ 静岡営業所
- ▶ 浜松営業所
- ▶ 北陸営業所
- ▶ 岡山営業所
- ▶ 高松営業所

